

日本図書館文化史研究会  
2007年度第1回研究例会のご案内

2007年度第1回の研究例会を、下記のように開催します。今回は貴重な映像資料を上映します。是非ともご参加ください。

記

○ 日 時 6月2日(土) 14時～16時

○ 場 所 明治大学 ~~リバティタワー8階~~ ~~1084教室~~

アカデミーコモン8階

司書・司書教諭課程室に変更しました。

<http://www.meiji.ac.jp/campus/surugadai.pdf>

※ リバティタワーの位置、交通等は上記掲載の地図をご参照ください。

○ 参加費 無料

○ 申込方法 参加ご希望の方は、本研究会事務局まで、郵便、ファックス、または電子メールでお申込ください。

○ 申込締切 5月27日(必着) でお申し込みします。

【発表1】

○ 発表者

井上 靖代 (獨協大学)

○ 発表題名

映像にみる図書館の歴史

○ 発表要旨

アメリカ中西部農村地域における読書運動や自己学習の支援活動として、州立大学図書館が積極的にラジオ放送や映像を活用した1930年代を背景として、第二次世界大戦後、アメリカ図書館界が、日本に対して映像としてアメリカ図書館思想を広めようとした動きがある。USIS (CIE 図書館) での映画会やナムコの映写機とともに社会教育の一環として、日本各地の図書館などに貸し出され、上映されてきた映像資料群のなかに、図書館をテーマにしたものは、日本で製作された「格子なき図書館」が知られているが、そのほかに8本の作品がある。そのうち2本を実際にみながら、当時の図書館の姿を考えていく。また、日本で製作された図書館活動の記録もあわせて上映する。映像資料から図書館の文化史を探るきっかけとしたい。

○ 上映予定作品

- 「図書館の宝索（知識の宝庫）Books & People: in the Wealth Within」ALA 製作 1947. 15分

（アメリカ南部での小さな町の公共図書館がいかにつくられていくかや活動はどのようなことをしているか、アウトリーチや図書館委員会の活動などについて紹介している。カラー 音声あり 16mm）

- 「ぼくらのゆめ」+「アメリカ博覧会の日」（A Day at the American Fair）広島図書製作 1950?. 23分

（学校図書館を子どもたちが自分たちで設立するために、広島図書の移動図書館車の紹介や西宮で開催されたアメリカ博覧会でモデルこども図書館（のちの広島県立（市立）図書館の建物として移築され、資料も移管された）の紹介などをおこなっている。）

- 「みのり号の軌跡 移動図書館の歴史」広島県立図書館製作、製作年不明（昭和 30～40 年代か？ 14分）

（広島県立図書館の移動図書館車と図書館船みのり号の活動を記録したもの。モノクロ。音声なし）

【発表 2】

○ 発表者

吉田 右子（筑波大学）

○ 発表題名

20 世紀前半期の公共図書館におけるメディアサービス

○ 発表要旨

ラジオをはじめとする新たなメディアがアメリカ社会に普及し始めたのは、20 世紀初頭である。図書館員は新しいメディアテクノロジーに対して敏感であり、同時代のニューメディアを食欲に図書館活動に取り入れた。ラジオ、テレビ、レコード、映画などを利用したサービスにより、アメリカの図書館はすでに 20 世紀前半には「図書」館という枠組みを超えてメディアセンターとして機能していた。本発表では 20 世紀前半期の公共図書館におけるニューメディアの受容を、図書館サービスと図書館 PR 活動の実践から見ていく。またメディアの導入を支えたアメリカ図書館協会の活動について紹介する。